



16.「**サンタ**さんはいるのかな」

2007年11月1日 社会福祉法人 江刺保育園



もうすぐクリスマスです。子どもたちにとってとても楽しい季節です。クリスマスといえば誰でも思い浮かぶのはサンタクロースだと思います。そのサンタクロースとは、どのような人なのでしょう。サンタクロースは実際には、この世にはいない架空の人格であることは大人である私たちは皆知っています。その架空の人格はどうしてこんなにも世界中で知られるようになってしまったのでしょうか。そのモデルは、セント・ニコラウス(270～342年)というキリスト教の聖人であるといわれています。その人が困っている人に施しのプレゼントをあげたことがサンタさんの由来であるといわれています。そして、中世のヨーロッパの民衆の中で、伝承や様々な習慣と交じり合ってサンタクロースの原形ができ、最終的には19世紀のアメリカのコカコーラのコマーシャルによって、今の形になったのです。したがって、サンタクロースは、イエス・キリストが誕生した記念であるクリスマスに対して、宗教的な意味合いは何もないのです。しかし、クリスマスの思いが、世界中の人たちの心に働き、今のようなサンタクロースを生み出したことは事実です。そのサンタを生み出した人々の心とは、全ての人々に対しての暖かな思いやりであり、子供たちに対する愛情と幸せを願う心なのです。クリスマスの本来の出来事である、イエス・キリストの誕生の出来事が、政治的な革命とか、社会の変革ではなく、人間の心の中にある、暖かな心を思い起こさせる出来事であることに私たちは注目しなければなりません。



私たちの**優しい思いや、幸せを願う心が、サンタクロースを誕生させた**のですから、クリスマスに出てくるサンタクロースは、特定の一人の人ではなく、**誰でも、その優しい心があればサンタクロースになることができるのです**。子供たちは皆、サンタクロースは実際にいると信じています。純真な彼らの心は、何の疑いもなくこのことを受け入れることができます。私たちは、その心に応えられるように、喜んでサンタクロースになりたいと思うのです。そして、サンタクロースがプレゼントしなければならないものは、おいしいケーキや、高価なおもちゃではなく、人に対しての優しさであり、思いやりであり、家族と一緒にいられる幸せであり、何にも替えがたい愛情を子供たちへプレゼントしなければならないのです。やがてサンタクロースが自分の親であることが判ったとしても、サンタクロースを通して自分の家族の優しい愛情を体験できたことを、愛された人は皆、心から喜ぶことができます。そして、いつか自分が親になった時、自分も喜んでサンタクロースになりたいと思うのです。ですから、サンタクロースはいるのです。



子どもたちに「**サンタクロースはいるのだよ**」と教えてあげてください。
皆様によいクリスマスの恵みがありますように心からお祈りしています。

『エンジェルヘッド』(10ケ分)



材料

さつまいも	300g
砂糖	大さじ2
スキムミルク	大さじ2
バター	20g
卵	1コ
そうめん	50g
ごま	30g
揚げ油	

作り方

- ① さつまいもは皮をむき、適当な大きさに切り、茹でてつぶす。
- ② つぶしたいものに、砂糖、スキムミルク、バター、卵を入れ、よくかき混ぜる。そうめんは砕いておく。
- ③ さつまいもを丸めて、そうめん、ゴマの衣をつけて、油で揚げる。